

アメリカ広葉樹原木と南洋材原木事情

服部商店の取り扱っているアメリカ広葉樹原木の人気商品ブラックウォールナット原木が 2014 年 2 月 1 日に今シーズン最初のコンテナ分が服部商店岸和田本社工場に入荷しました。



アメリカの経済政策『リーマンショックの失業率削減を目標とした超金融緩和』を真似た自民党安倍政権の超金融緩和による現在の円安でブラックウォールナット原木価格は昨年比10%以上、上がっています。又アメリカ国内の昨年の異常気象『夏場から秋口に起こった洪水』による搬出原木数量の減少、依然として旺盛な中国の需要等様々な外部環境の変化によって良質原木の買い付けは益々困難になってきております。

しかし状況が好転し買い付けが楽になることは、まず無いと小生は考えています。確かにコストは年々上昇していくかもしれませんが、もし米材広葉樹原木を商いの一つとしていなかったら服部商店の現在は悲惨な状況に陥っていたのではと思います。以下の数字は過去4年間のブラックウォールナット原木の製材本数です。

21年10月～23年9月	7本	22年10月～23年9月	17本
23年10月～24年9月	33本	24年10月～25年9月	34本

今期の計画は昨年とほぼ同じ数量を予定しています。しかしこの数字だけを見ても悲惨さが解らないと思いますのでもう一つの数字を以下に書きます。その数字は最近まで服部商店の主力樹種でしたカツラ原木の製材本数です。凄く驚く数字だと思います。

19年10月～20年9月	54本	20年10月～21年9月	20本
21年10月～22年9月	36本	22年10月～23年9月	24本
23年10月～24年9月	16本	24年10月～25年9月	5本
25年10月～26年1月	3本		

今期の数字は途中経過です。今現在3本しかカツラ原木が集まっていますが、集まっても後数本だと思っています。最近のピーク19年～20年の数字の10分の1まで激減しているのが解ると思います。

この傾向を当時19年に予想したのでは決して有りません。と言うよりもっと以前15年以上前日高山脈の奥まで賀集産業の当時の山口原木部長と山元の公売に参加したのですが、その時の山の印象『本当に数年内に必ずカツラ原木はなくなる。しかし具体的に何年先か解らないが間違いない。』から危機感を持って

仕入れに当たっていたので将来何を扱うべきか何時も悩んでいたと思います。それがカツラの商いの一部分を上手くブラックウォールナット原木に移行したと思っています。

しかしブラックウォールナット原木だけでは不十分な事はじゅうじゅう承知しています。もう一つの扱い品目の変更がアガチス材です。服部商店の重要な商いのツールがアガチス現地挽き製材品ですが入荷が極端に減ると商いにはなりません。

幾ら在庫を積み増しても限度が有ります。1年が限界でした。現地挽きから原木を製材する方向に180度舵を切ったのです。確かに現地挽きから原木挽きに変更しても商いの大きさは決して大きくならない事は最初から解っていましたが、アガチス材の商いがゼロにならない様にするのが経営者の仕事です。

現地挽きから原木挽きに変更をする時以下の事を考えました。

- 1、仕入れ先は有るのか？
- 2、原木の製材方法は？
- 3、長い原木を服部商店の自家工場で製材可能か？
- 4、現地挽き製材品との比較はされないか？
- 5、乾燥方法は？
- 6、玉切りは難しくないか？
- 7、仕訳はどんな方法か？
- 8、木口は美しく切れるか？
- 9、耳断ちはどうする？
- 10、採算は合うか？

1~10まで簡単に並べましたが一つずつ解決してきましたが簡単な道のりでは有りません。現在も新たな課題を解決する手段・方法を探りながら、毎日の仕事に励んでいます。下記は買い付けた5本口↓



超大型リフトにて原木を卸す ↑

片耳付柁目板にて約3か月自然乾燥を施す。→
厚み別に干しています。寸検は白いチョークにて概略入れています。
等級も概略入れています。



服部商店自慢の乾燥機械（長野県・ヒルデブランド社製・燃料は木材廃材）約2週間人工乾燥機械に入れ含水率10%~12%にする。



約10日間再び天然乾燥を施す



最後に耳を落とし最終製品の完成

すべての項目を服部新聞でお見せすることは出来ません。企業秘密の部分も多く有りますので。しかし開かれた材木業者を目指している以上勉強会の時に是非見に来て下さい。人工乾燥機械『機械を止めて中身を見て頂きたいと思います。中にどの材が入っているかは、来社された方だけの特典です。』を是非見に来て下さい。

無垢材の迫力

右の写真は服部商店オリジナル（数量限定商品）のブラックウォールナット材の超幅広設計（150㌢）のフローリングです。

価格設定を幾らにするか決定していない商品ですがこの商品の迫力も是非見に来て下さい。

勉強会の2部AM11時~11時30分にナラ材の超高級フローリング（巾150㌢厚み20㌢）と同時にブラックウォールナットフローリングの製作を皆様に是非見ていただこうと思っています。



第 13 回勉強会のご案内

平成26年3月15日土曜日 AM10時～11時の1時間で行う勉強会の内容が決定致しましたので最終のご案内をさせていただきます。先月の服部新聞ではどの樹種の製材を見て頂くかは正式に決まっていませんでしたが、先々月の服部新聞の勉強会のご案内の通りタモ原木に決定致しました。

それも日本産タモ原木です。日本産にしては珍しい目の細かい原木です。ロシア・中国産より径級は細いですが、これぞタモ色と言っても良い原木です。

巾の広い板は取れませんが、タモ原木の本当の色合いとはどんな色なのかを勉強するには絶好の原木だと思います。

参加者の制限は特に設けていませんので、お知り合いの方が有れば誘って来て頂いても結構です。

ただし（簡単な昼食ペットボトルのお茶とカップラーメン）用意が有りますので別紙に記入して御連絡頂ける事をお願いします。又重複していても結構ですので、先月号にてご連絡頂いている方もご連絡をお願いします。



左の写真は今回服部商店が導入しましたドイツ製の全自動4面削り機械（通称モルダー）です。

この機械にて服部商店オリジナルフローリングの製作を見て頂きます。ブラックウォールナット材とナラ材を予定しています。



展示即売会の特典（記念）

展示即売会の商品は服部商店のホームページに掲載しています全商品が対象です。彫刻用・家具用・DIY用・造作用と凄く幅広い商品です。

価格は全て表示価格から5%引きにてご奉仕します。又遠方の方、当日用事が有って、来られない方の為に5%割引の販売期間を下記のように実施致します。

3月1日～3月15日当日の午後4時まで開催します。なお5%割引の対象者は過去に一度でも購入頂いた方です。商品のご注文は、メール・ファックス・お電話にて必ず第7回木材展示即売会の5%割引希望と仰って頂ける様をお願いします。

日頃お世話になったことを還元したいと思い企画しました。大変申し込みが多い事も予想されますので、早く申し込みされた方を優先しますので別紙で申し込みください。なお商品は申し込み順に発送致します。

3月1日から申し込み頂いた商品は3月15日を待たず発送しますのでこの機会を逃さず欲しい商品を手に入れて下さい。

又当日来社される方に軽食（カップラーメンとお茶）の用意もしたいと思いますので是非記入の上、ご返信下さい。

FAX 072-422-8577

2014年3月15日に勉強会・日本産タモ原木の製材（AM10時～AM11時）とブラックウォールナット・ナラ材のフローリングの加工（AM11時～11時30分）を行います。

第7回展示即売会（AM8時～PM4時まで。途中勉強会開催中販売を中止します）を合わせて開催します。

アンケート

1、 第13回服部商店勉強会と第7回木材展示即売会に出席します。

はい

いいえ

2、 参加される人数を明記下さい。

人

3、 当日来場出来ない方と遠方の方に（ホームページに掲載しています全商品を5%オフにてご購入して頂けます。）下記に記入の上FAXかメールでこの用紙をご使用してご連絡下さい。

（必ず**勉強会記念**と明記の上樹種・商品番号を明記の上ご連絡下さい）ご注文が重複した場合は申し込みが早い方を優先させていただきます。）

会社名	
参加者名（複数の場合 代表者名前）	
ご住所	
連絡先電話番号	
連絡先FAX番号	

（株）服部商店

服部雅章

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

TEL 072-438-0173・0511